

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		農業次世代人材投資事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040101001044
						単独/補助	補助		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	050101
総合計画の施策名		0401 農林業の振興						課長名	農林課
政策名		04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農政G
施策名		01 農林業の振興						担当者名	
手段名		01 ①担い手の育成・支援							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	04	01	00	単年度繰返し (令和元年度~)		
法令根拠		農業人材力強化総合支援事業実施要綱・桜川市農業次世代人材投資事業資金(経営開始型)交付要綱				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>本事業は次世代を担う農業者となることを志向する原則50歳未満の認定新規就農者に対して、就農開始から経営が安定するまでの5年間、年間最大150万円を交付し、就農直後の経営確立を支援することを目的とする。</p> <p>本事業は国からの補助金で賄われており、資金の額は、経営開始3年度までは交付期間1年につき1人あたり150万円を交付し、経営開始4年目以降は、交付期間1年につき1人あたり120万円を交付する。ただし、前年の総所得が600万円を超える場合は交付を停止する。</p>	<p>事業に対する要望があった場合は、採択基準に照らし合わせながらサポートチームを交えた面談を行い、市の予算の範囲内で適否の確認を行う。承認となった場合は速やかに種々の事務手続きを行う。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 実施計画書を県へ提出する 交付申請書の提出後交付決定通知を受ける 実施主体に年2回に分けて補助金を交付する 実施主体の就農状況確認をサポートチームと共に年2回行う 実績報告書を県に提出する。 	事業申請者数	人	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
桜川市で農業経営を開始する原則50歳未満の認定新規就農者	認定新規就農者数	人	4.00	7.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
次世代を担う農業者となることを志向するものに対して、就農直後から経営が安定するまでの最大5年間補助金を交付し、経営確立を支援することを目的とする。	県からの補助金交付額	千円	3,000,000.00	3,750,000.00	3,750,000.00	3,750,000.00	3,750,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	3,000	3,750	3,750			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	0	0			
	事業費計(A)	3,000	3,750	3,750			
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

03年度事業費 実績(千円)

04年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	03年度実績(千円)	04年度予算(千円)
18 負担金補助及び交付金	3,750	3,750
合計	3,750	3,750

事務事業名	農業次世代人材投資事業	事務事業No.	40101001044	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
高齢化に伴い農業者が減少する中、若い新規就農者の経営を補助し軌道に乗せることで、次世代を担う農業者に育てることを目的として開始した					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
新規就農を考えているものは、当事業が後押しになっているとの意見が寄せられている					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業の振興につながり、担い手の育成・支援を図ることができる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・国の政策事業であるため、行政が取りまとめるのが妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 認定新規就農者になったものの多くは当事業を活用しているため向上の余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 担い手の育成・支援に悪影響が出る事が懸念される。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国の政策事業であるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	次世代を担う農業者となることを志向するものに対して、就農直後から経営が安定するまでの最大5年間補助金を交付し、経営確立を支援できている。今後も要望があれば速やかにサポートチームと連携し、次世代を担う担い手の育成・支援を図っていく。																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果 ②																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>